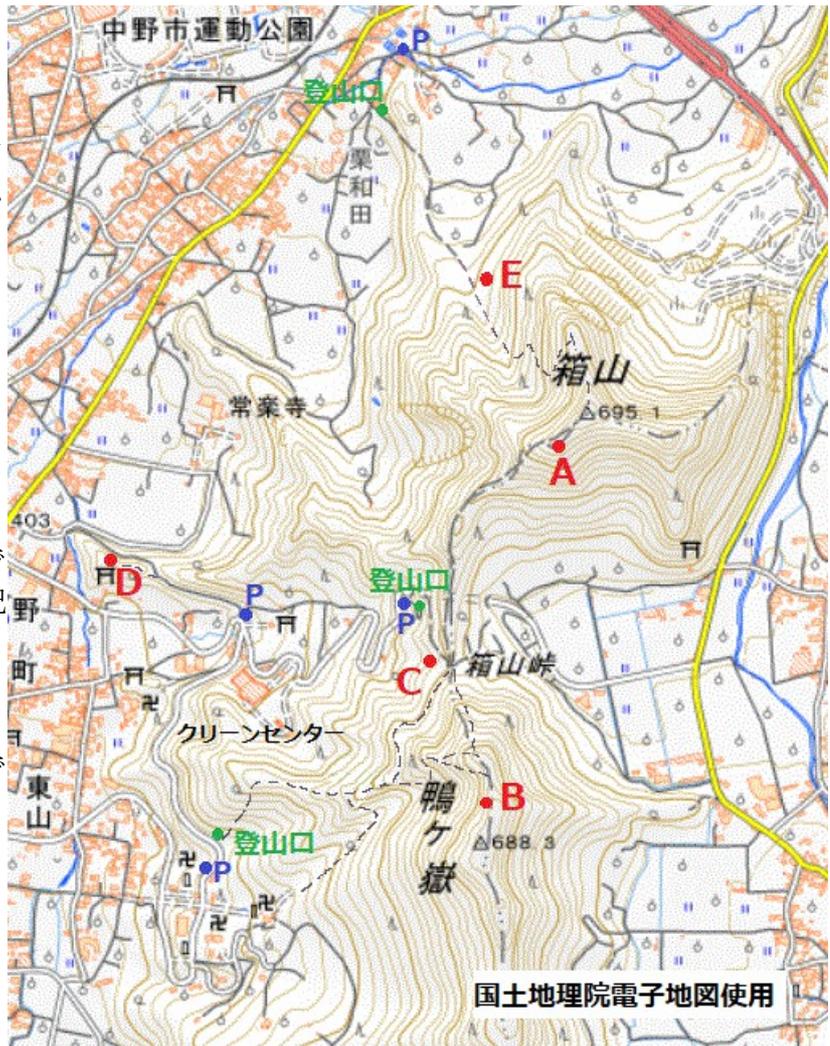


今冬は肩の故障があり、クライミングが暫くできず、体力の衰えが顕著で、春先に体調を整えるために、何回かハイキングをした。長野あたりの城址のある低山を中心に、山の雪融けを追いかけるように北上する形で歩いたのだが、気晴らしになったと同時に、思いもよらず多くのボルダーを発見することができた。この箱山&鴨ヶ嶽ボルダーも新たに発見したボルダーだが、地図から分かるように、離れて点在しているうえに、かつ山頂付近にあるボルダーもあり、お勧めできるものではないことを最初に明記しておきたい。近場の者がハイキングついでにちょっと遊んでくるといった感覚で捉えてもらいたい。

岩は安山岩または溶結凝灰岩で脆い部分もある。山の中には沢山のボルダーがあるが、急傾斜地にあるものが多くトライは危険である。ここに紹介するボルダーはそこそこ下地が良いボルダーと考えてもらって良い。

アクセスは中野市の箱山または

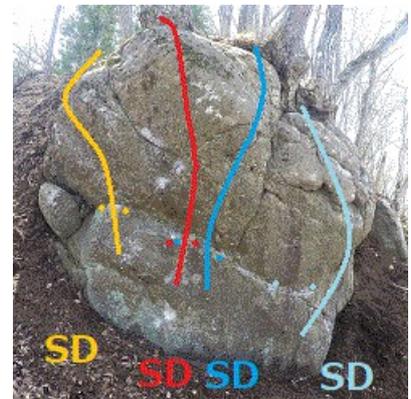
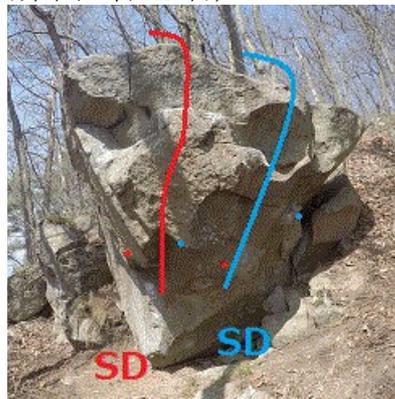
鴨ヶ嶽を目指していくが、登山口近くに駐車スペースがある。但し、E岩への北登山口の駐車は浄水施設の横の道路が広くなったところに駐車するが、分かりにくいので地図をしっかりと確認したほうが良い。アプローチはA岩とB岩は山頂付近なので遠いが、他の3箇所は10分程度である。



<課題紹介>

●A岩(箱山山頂近くの岩)&B岩(鴨ヶ嶽山頂近くの岩)

(左:A岩南面 中央:A岩東面 右:B岩)



A岩は、箱山山頂から峠への道を少し下ると、南斜面に見えるが、気にしていないと見落として

しまう。

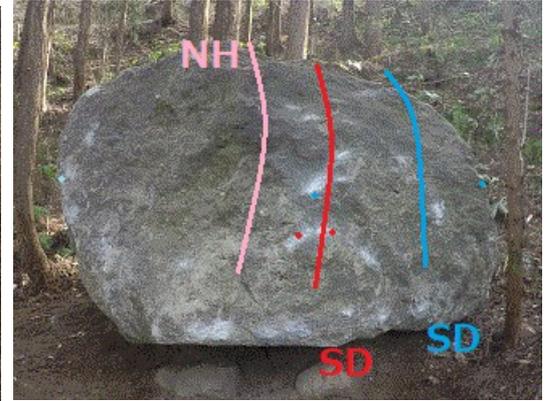
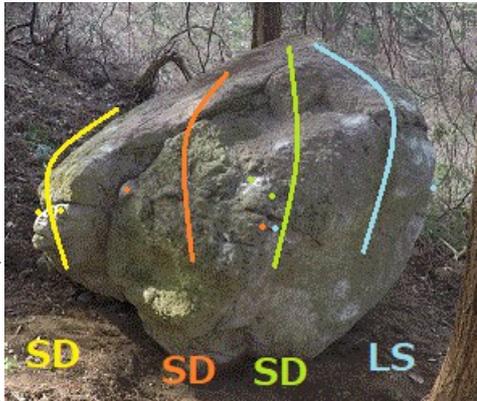
B岩は、鴨ヶ嶽山頂の少し手前にある岩。ちょっと脆いところがある。

### ●C岩(箱山峠下の岩)

(左:北面 右:西面スラブ)

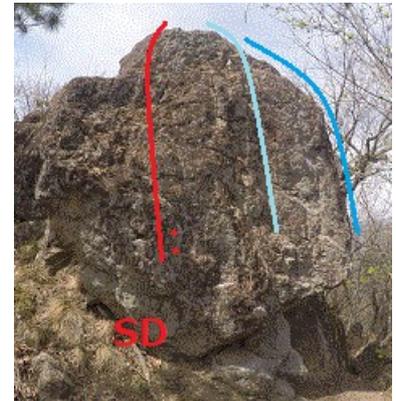
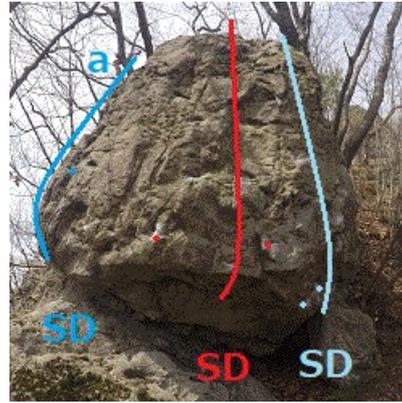
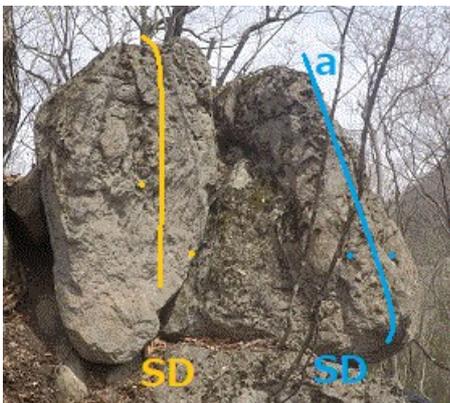
箱山トンネルの手前に駐車し荒れた登山道を少し登ると箱山峠手前で谷の中に見える。

水色ラインは1本指の入る穴を使ってSDスタートしたかったが、身体が上がらずLSとなってしまった。



### ●D岩(猿田彦大神のピーク)

(左:下の岩南面 中央:下の岩東面 右:上の岩)



東山招魂社から車止めのある荒れた道に入る。途中切通しとなるが、ボルダーへは切通しの手前南側から尾根に上がり踏み跡をたどると、「猿田彦大神」の石碑がある岩のピークに着く。

下の岩は、出だしが被っており、水色ラインと赤ラインがパワフルでムーヴもあり面白い。

上の岩は、支え状の岩が見た目脆そうなうえに、ランディングが狭く、一応登っては見たが、上から落ちると斜面を転がる可能性もあるのでお勧めしない。

### ●E岩(浅間社登山道の岩)

(左:北面 右:西面と南面)

栗和田地区の登山口から入り、箱山から北西に延びた尾根を越え、左に果樹園を見て害獣よけの電気柵から少し行くと左の山の斜面にボルダーが見える。周辺には他にも幾つか岩があるが、高さが無いのであまり対象にはならない。

課題的には赤と青ラインがちょっと楽しめるが、今のところこの岩だけしかないのが残念。

